

木田のけいこ

紅葉の岡城跡

木

年第三回の大分県議会定例会が、9月17日から10月7日まで、延べ21日間の会期で開かれました。

今回の一般質問は、計3日間、12人の質問者で行うこととされ、私は初質問の機会を得ることができました。

私の質問日は9月30日で、議長に指名され、その日のトップバッターで議場の演壇に立ちました。

次の項目について、知事及び県執行部に対する質問を行い、答弁を求めました。

1. 地方創生の取組について

- (1)まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- (2)高齢者の地方移住について
- (3)UIJターンの促進について
- (4)企業誘致について
- (5)立地企業への支援について

2. 市町村との連携について
 - (1)大分市との連携について
 - (2)県と市町村の役割分担について
3. マイナンバー制度について

以

上、全8項目に対し、知事や担当部長からの答弁を受けたところです。

いずれの項目においても、前向きに取組んでいく旨の答弁でしたが、これらの行政施策の推進において、県として取組むべき姿勢や内容について、私なりの考え方を提言しました。

持ち時間(30分)を数秒オーバーしましたが、私の初質問を無事に終了できました。

なお、質問・答弁の詳細は次号にてお伝えします。

二〇一五年 第3回定例会

地方創生対策など、知事へ質問と提言



新たな大分県長期総合計画を策定

今定例会へ「大分県長期総合計画」が議案として上程され、各常任委員会での審査を経て、最終日の本会議で議決されました。

本格的な人口減少社会の到来や地方創生という地域間競争に対応するため、現計画である「安心・活力・発展プラン2005」の終了を待たずして新たな計画を策定することとしました。

この計画は、私が今回質問した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

の基本であり、2015年度を初年度として、2024年度までの10年間にわたり取組む内容となります。

また、現有機の更新に伴い、防災ヘリコプターの取得(限度額:約15億円)のほか、県立美術館所蔵として田能村竹田の「稻川舟遊図」(国指定重要文化財:予定額1億2千万円)の取得を含む、約32億円の補正予算が本議会で承認されました。

